

第36回青梅市公共交通協議会議事要旨

日 時 令和2年12月21日(月) 午後3時から午後4時30分まで

会 場 青梅市 議会棟3階 大会議室

出席委員 15名、代理1名

高橋会長、佐々木座長(代理)、木村委員、斎藤委員、島崎委員、中村委員、新井委員、
安西委員、榎本委員、高橋委員、松本委員、大栗委員、酒井委員、中野委員、馬場委員、
谷口委員(代理)

傍聴者数 3名

配付資料 資料1 報告・協議資料

参考資料 青梅市立吹上小学校第2学年モビリティマネジメント企画書

議 事

1. 開会
2. 新任委員の紹介
3. 議題

【報告事項】

- (1) 前回協議会の振り返りについて
- (2) 小学校交通環境学習について
- (3) 広報おうめへ掲載した利用促進記事について
- (4) 青梅市自治会連合会第二支会が実施するアンケートについて

【協議事項】

- (1) 青梅市公共交通基本計画の見直しについて
 - (2) 現状認識について
 - (3) 公共交通改善施策について
 - (4) 公共交通利用促進策について
 - (5) 公共交通ガイドの作成について
4. その他
地域公共交通計画策定事業補助金について
 5. 閉会

1. 開会
2. 新任委員の紹介
3. 議題

【報告事項】

(1) 前回協議会の振り返りについて

○事務局

(資料1 (1) 前回協議会の振り返りについて説明)

○座長

ご質問等ございますか。 — 質問なし

(2) 小学校交通環境学習について

○事務局

(資料1 (2) 小学校交通環境学習について説明)

○座長

ご質問等ございますか。 — 質問なし

(3) 広報おうめへ掲載した利用促進記事について

○事務局

(資料1 (3) 広報おうめへ掲載した利用促進記事について説明)

○座長

ご質問等ございますか。

○委員

記事にある守るべき3つのマナーについて、障害のある人は守るのが難しいこともあり利用を控えることがあります。タクシーでも乗降の都度、消毒するなど大変だと思いますが、現状はどうですか。

○委員

タクシーには消毒の道具を積んでおり、また換気も十分に実施しています。

○座長

昨日バスの換気を体験しましたが、すぐに換気できることがわかりました。

(4) 青梅市自治会連合会第二支会が実施するアンケートについて

○事務局

(資料1 (4) 青梅市自治会連合会第二支会が実施するアンケートについて説明)

○座長

ご質問等ございますか。これは自治会が回収等も自主的にやっていただけるということですね。

○事務局

その通りです。

【協議事項】

(1) 青梅市公共交通基本計画の見直しについて

○座長

ご質問等ございますか。

○委員

カントリービラのバスは、法人の費用負担による公益事業として10年間継続を目標に開始して、すでに6年やっているのであと4年で終了してしまう。その後も他法人とも協働して継続できるとよいと考えている、という話でした。一方、マルフジのらくらくバスは採算がとれていて、奥多摩町からは費用を負担するので来てほしいという要望が出されているようです。今後、「チョイソコ」という乗り合い送迎サービスの仕組みをご紹介できたらと思っています。

○座長

マルフジのバスは買い物以外の人の利用もあるようです。

○委員

P12の方針Cのところで、赤字路線の拡大が懸念されています。郊外不便地域でのサービスと赤字問題とは両立しませんが、その方向性について何か検討していますか。またマルフジのバスですが、路線バスのルートとかぶっています。多様性の確保ということは分かりますが、路線バスの客が減り、それがサービスに影響することになります。いかに多様な組み合わせを図るかが課題となります。

○事務局

赤字拡大への対応の方向性について、現在のところ特に示せるものはありません。今後検討していきます。

○座長

マルフジの件、公共交通が果たす役割を考えていくなかで、それぞれの役割と効果を明確化していくことになるのではないのでしょうか。

○委員

現行の公共交通基本計画の7年間の結果がまとめられているが、P13でCとDはなにもないことになっています。Dの利用状況や路線形態からみた既存路線の見直しに関しては、斎場線の見直しを行ったので、成果として入れてよいのではないのでしょうか。令和4年にパブリックコメントを実施予定とありますが、コロナの影響を受けている現在と状況が変わってしまうのではないのでしょうか。

○事務局

P13のDに関しては、斎場線の見直しを成果に取り入れるようにします。

○座長

コロナ禍の状況で長期計画を策定するのは難しい面があり、状況を見極めながら内容を検討する必要があります。

(2)現状認識について

○座長

ご質問等ございますか。

○委員

今後施策を検討していくうえでは、パーソントリップ調査のデータが基礎となりそうですが、トリップ数の予測で、コロナの影響で外出が減るといふ行動変容がいつまで続くか、さらにそれ以前のデータによるトリップ減少とが加わって、将来どのようになるのかを検討しなければならないと思います。

○事務局

予測検討については協議して進めます。

○座長

どう変化していくかについて、是非皆様の情報も提供いただいて検討していきたいと考えています。P21をみると、高齢者の外出が増え、20代が減少するというのは首都圏全体で言えることです。この状況を踏まえてアップデートしてください。

(3)公共交通改善施策について

○座長

ご質問等ございますか。

○委員

問8で日常を聞いていますが、現在はコロナの影響下であるので、そうでない日常を聞いた方が良いと思われます。

○事務局

ご指摘を参考にします。

○委員

配布世帯数はどのくらいでしょうか。また各世帯のだれが書くかで結果が異なってしまいます。例えば、お父さんは車を持っていてお母さんは持っていないなどがあります。

○事務局

1世帯あたり2つの票を配布する予定です。

○座長

できる限り多くの票を1世帯に配布してください。

○事務局

アンケートについてその他ご意見あれば、年内に事務局まで連絡してください。

○座長

いろいろ細かい点で指摘することがあります。例えば問12の回答で「利用しない」は問17にいくことになっていますが、これは問16の間違いではないでしょうか。

○事務局

修正します。

(4)公共交通利用促進策について

○座長

ご質問等ございますか。ペーパークラフトをどう配るのか考えてください。

○事務局

検討しているところです。

○委員

イベントがなかなかできない状況にはありますが、小学生が参加するようなイベント時に配布するとよいと思います。候補としては産業まつりなどがあります。

(5)公共交通ガイドの作成について

○座長

確認として、これはどのように配布しているのですか。

○事務局

自治会加入世帯に全戸配布し、そのほか交通事業者の営業所や公共施設、駅に設置しています。

○委員

バスについて交通事故があったので、ガイドに公共交通を利用する際の交通安全に関するメッセージを掲載するとよいと思います。

○事務局

掲載する方向で検討します。

○会長

公共交通ガイドは、町会・自治会を通じて配布していますが、加入率は4割なので、そのほかスーパーや病院など配布を拡大してもらいたい。

○座長

昨年、高齢者を対象に行ったアンケート調査において、ガイドを同封した場合と、同封しなかった場合を比較しました。同封した場合には高齢者の免許返納が増えたという結果になりました。関心を持ってもらうときにガイドを配布すると効果的なので、病院等に設置できるとよいと思います。

4. その他

○事務局

今年度、本協議会が実施する地域公共交通計画策定事業に対し、国から補助金の交付決定がありました。この交付を受けるにあたり、事業評価を実施して国に報告する必要があります。つきましては、事務局において評価案を作成し、後日、書面にて委員の皆様にご協議いただく予定です。

○座長

その他なにかご質問等ございますか。

○会長

河辺下のアンケートですが、マンションの自治会含め、6つの自治会があり、加入率は43%です。事前に各町会長・自治会長へアンケートへの協力を依頼する予定です。また第二支会のアンケートにも期待しています。

○委員

ダイヤ改正について説明します。来年3月13日より最終電車を繰り上げ、保守作業に必要な時間確保を行います。青梅線では37分繰り上がりますがご理解いただきたい。

○委員

本協議会はバスだけでなく鉄道も対象としているので、JRからも今後情報を協議会の場で提供してもらえるとありがたい。

○委員

令和2年9月29日にバス・タクシーを利用してもらうプレスリリースを行いました。その第二弾として、富岳によるタクシー内の換気シミュレーション結果を加えた、プレスリリースを年内に行う予定です。

○会長

市内には11の自治ブロックがあるが、御岳地区から「公共交通が不十分で、コミュニティバスはどうか」などの話がでています。

○委員

日立の跡地の活用予定がわかっているならば、教えてください。

○事務局

現在、更地にする工事を行っています。その後の活用計画について現時点では把握しておりません。

○座長

熱心な議論をありがとうございました。交通はクロスセクターとして多様な分野に効果が波及するので、今回のように様々な立場から情報提供いただけるのはよいと考えています。

○会長

佐々木座長代理、ありがとうございました。委員の皆様にも、熱心な御議論をいただき、ありがとうございました。皆様の御協力によりまして、円滑に議事を進めることができました。青梅市公共交通基本計画の見直しについて、そのすすめ方の全体像が見えてきました。今年度中に、新たな計画策定に向けて、しっかり準備を進めていきたいと思えます。委員皆様方には、より一層の御理解と御協力をお願いいたしまして、挨拶といたします。良い年をお迎えください。

○事務局

事務連絡をお伝えいたします。次回は、来春の3月の開催を予定しております。委員の皆様には、後日開催通知をご送付いたしますので、お忙しいところ大変恐縮ですが、よろしく願いいたします。

○会長

以上をもちまして、第36回青梅市公共交通協議会を閉会いたします。大変お疲れ様でした。

以上